※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　国語科

科目	**現代の国語**	単位数	2
使用教科書	「新編　現代の国語」　（東京書籍）		
副教材等	「新編　現代の国語　学習書」　（ＮＨＫ出版）		

	前期	後期
単位	1	1
レポート	３通	３通
必要出席回数	１回	１回
テスト	○	○

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・必履修科目(国語科は「現代の国語」と「言語文化」の二科目)。
・一年間を通じて、「読む」ことを中心に現代の文章・思考に触れ、読解力や思考力を養います。
・「書く」ことの基本も身に付けます。

２　学習の到達目標

・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者（著者・作者・添削担当等も含む）との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
・言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代的な文章を読み書きするにあたって必要な知識・技能（常用漢字、語彙、修辞等）を身に付け、活用している。	論理的に考えたり、豊かに想像したりすることを身に付け、他者の考えを読み取ったり、自身の考えを伝えたりすることができる。	学習したことを意識して活用しようとしたり、単元の内容について主体的に探求しようとしたりしている。

- 学習指導要領(第１章第７款の４)に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用する。
- 学年末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

範囲	S	R	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
					知(a)	思(b)	主(c)
前期	1時間	1枚(1枚目)	①「読む」ことの基本を身に付ける ［教材］評論の読み方	a:(単元①②③)常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている (単元①②)主張と論拠など情報と情報との関係について理解している (単元③)比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している b[読]:(単元①②③)読むことにおいて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を的確に捉え、要旨や要点を把握している c:(単元①)単元で学んだことを活用し、単純な文章を作り上げようとしている (単元②)筆者の論旨に対して賛同や反論など、何らかの反応を示そうとしている (単元③) 筆者の考えをくみ取ろうとしたり、自分自身の世界観を他者に伝えようとしたりしている	・レポート ・テスト	・レポート ・テスト	・レポート ・スクーリング
		1枚(2枚目)	②随筆の基本的な読み方を理解する ［教材］未来をつくる想像力				
		1枚(3枚目)	③原稿用紙等の書き方を身に付ける ［教材］原稿用紙の使い方等				
後期	1時間	1枚(1枚目)	④筆者独自の言い回しを理解する ［教材］水の東西	a:(単元⑧⑨)常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている (単元⑧⑨)文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している b[読]:(単元⑧⑨)読むことにおいて、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている [話聞]:(単元⑨)話すこと・聞くことにおいて、読み取った情報について意見を交換している c:(単元⑧)伝えたい事柄と、その根拠となる別の事柄を結び付けようとしている (単元⑨) 日常的に目にする文章から、情報を的確に読み取り、その技能を身に着けようとしている	・レポート ・テスト	・レポート ・テスト	・レポート ・スクーリング
		1枚(2枚目)	⑤論理的な思考の基礎を養う ［教材］推論の仕方				
		1枚(3枚目)	⑥新聞記事等から情報を読み取り、考える ［教材］言葉と生活				

※ 表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※ 表中の「S」とはスクーリング、「R」とはレポートのことを指す

※ 通信制の高校である為、単純な授業時数で表わすことはできない。参考に、レポート１枚あたり２時間を想定して各領域における授業時数を示しておく。

・書くこと　…　（　6）時間

・読むこと　…　（２１）時間